

兵庫県水産技術センターだより

SG-11-001号

イカナゴ親魚調査結果

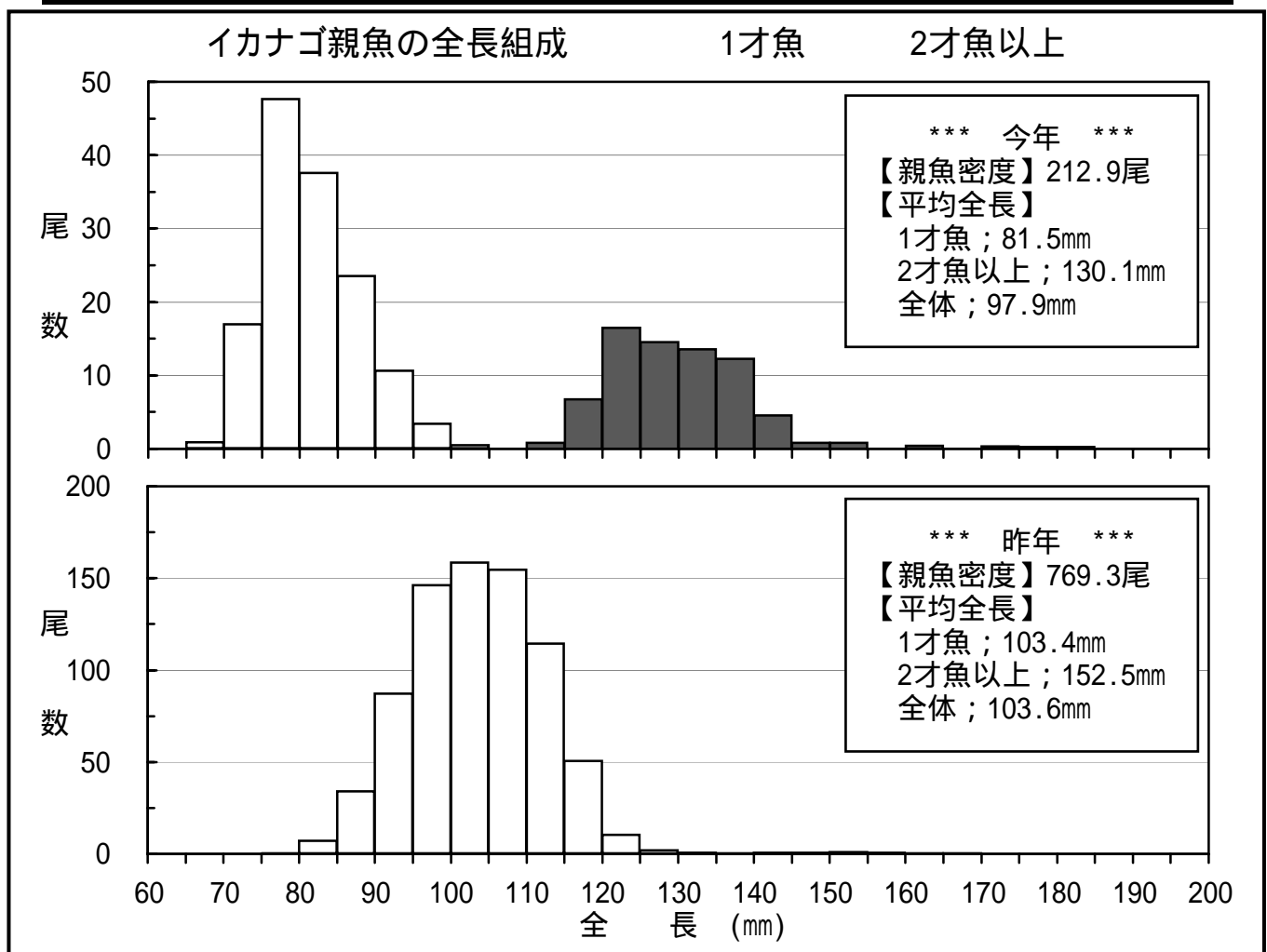
2012年1月11日発行

平成23年12月8日から12月28日にかけて、鹿の瀬において文鎮漕ぎによる親魚調査を実施しましたので、その結果をお知らせします。

親魚の密度と年齢組成

- ・親魚密度(文鎮漕ぎ1回当たりの採集尾数)は212.9尾で、昨年の769.3尾を下回りました。
- ・年齢組成は1才魚が66.3%、2才魚以上が33.7%で、昨年に比べると2才魚以上の割合が増加しました。

年	親魚密度(文鎮漕ぎ1曳当たりの採集尾数)		
	1才魚	2才魚以上	全体
今年	141.1尾(66.3%)	71.8尾(33.7%)	212.9尾
昨年	765.9尾(99.6%)	3.4尾(0.4%)	769.3尾



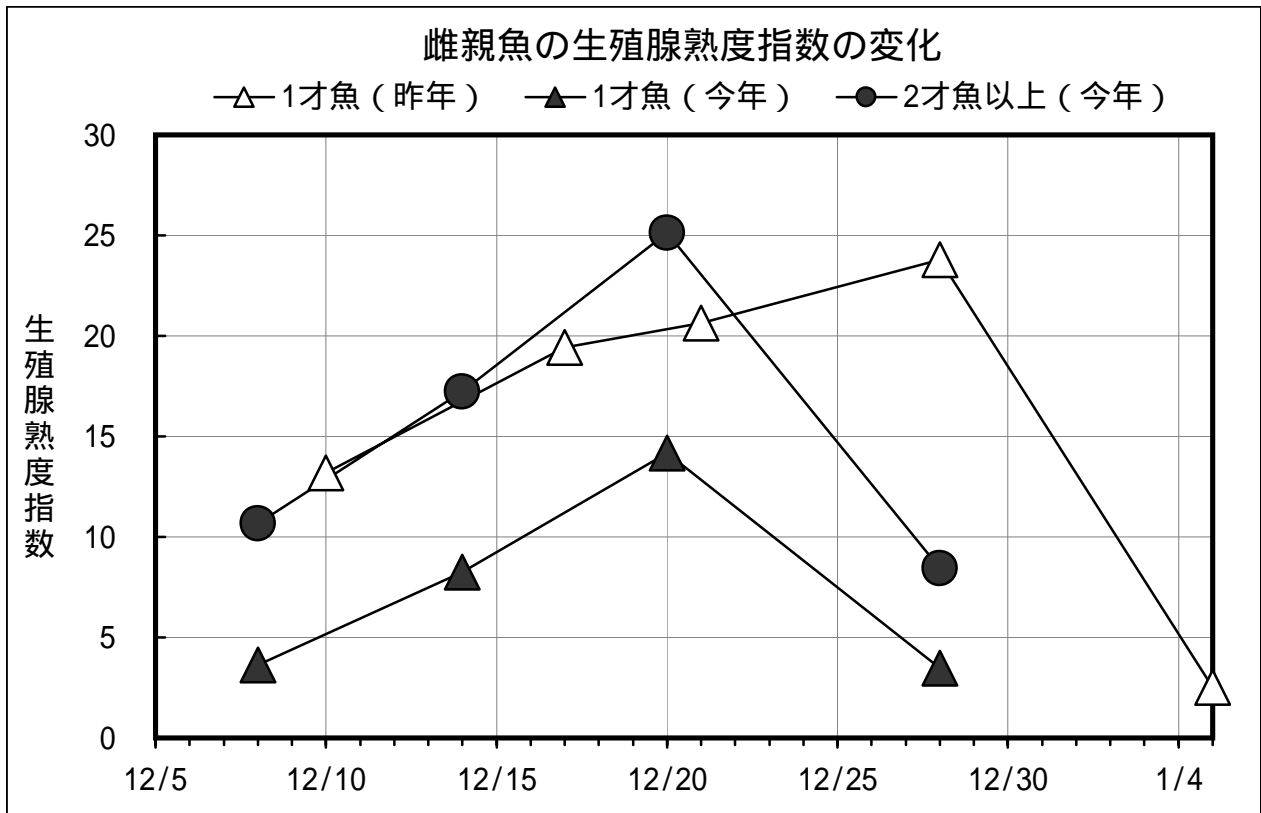
産卵量指数

- ・昭和61年を"1.00"とした場合の今年の産卵量指数は2.74 となり、昨年(9.28)の0.3倍になりました。

年	産卵量指数(昭和61年を"1.00"とした場合)		
	1才魚	2才魚以上	全体
今年	0.66	2.08	2.74(昨年の0.3倍)
昨年	9.10	0.18	9.28

産卵期

今年は12月22日から26日頃にかけて強い冬型の気圧配置となり、明石海峡部の水温もこの間に1.5程度低下しました。この水温の急激な降下が産卵刺激となり、雌親魚の生殖腺熟度指数も12月20日から28日にかけて減少しました。このことから、鹿の瀬における今年の産卵盛期は昨年(12月28日～1月5日)よりやや早い12月26日から28日前後と推察されます。なお、昨年の2才魚以上の生殖腺熟度指数は採集尾数が少な過ぎたため下のグラフには掲載していません。



< 参考 > 夏季の親魚調査結果 (文鎮漕ぎ1曳当たりの採集尾数)

海域	操業場所	今年		昨年	
		操業日	採集尾数	操業日	採集尾数
播磨灘	鹿の瀬	7月26日	488.3	7月27日	641.5
	室津の瀬	7月26日	380.3	7月27日	615.0
	二見沖	7月26日	30.5	7月27日	164.0
大阪湾	岩屋港前	7月28日	欠測	7月28日	22.0
	沖の瀬	7月28日	14.0	7月28日	16.5
	須磨の瀬	7月28日	13.0	7月28日	4.5

今後の予定

稚子の分布調査

紀伊水道: 1月17日、大阪湾: 1月25日、播磨灘: 1月25・26日

稚子分布調査結果の公表: 1月30日頃

イカナゴシンコ漁況予報の公表: 2月14日頃

(稚子の分布調査とその結果の公表については、天候により日程を変更することがあります)

§ お問い合わせ先 §

兵庫県立農林水産技術総合センタ - 水産技術センタ - (担当: 資源部・岡本繁好)

Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604

E-mail: Nourinc_suisan@pref. Hyogo. lg. jp

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>